

04  
2016  
創刊号

# NK Meister MAGAZINE

# nk4m

協力会発足  
特別座談会  
小野勘×小野剛×南部健二

内藤工業所の  
70年の歴史。  
NK HISTORY



nk4m

NK Meister MAGAZINE

04 2016

編集・発行／(株)内藤工業所 マイスター推進グループ  
〒963-8861 福島県郡山市鶴見坦1丁目14番5号 TEL.024-959-5241

私たちが内藤工業所は、  
出会った人々に感謝を忘れず、  
そしてすべての人が幸せな人生を送れるように、  
これからも革新的で価値ある製品、  
サービスを提供し、よりよい未来をつくりまします。



株式会社 内藤工業所

〒963-8861 福島県郡山市鶴見坦1丁目14番5号 TEL.024-923-1800

<http://kougyou.nk-g.co.jp/>

【喜久田工場】〒963-0541 福島県郡山市喜久田町堀之内字地田東17番2号 TEL.024-923-1800/FAX.024-923-1839  
【仙台支店】〒983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野4丁目2番地の31 TEL.022-388-7176/FAX.022-388-7186

【山形営業所】〒990-2445 山形県山形市南米町2丁目13番17号 TEL.023-633-0692/FAX.023-633-0695  
【東京営業所】〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-12-7 KOビル6階 TEL.03-3669-1700/FAX.03-3669-1701

エヌケー紫波株式会社

<http://www.shiwa.co.jp/>

〒028-3451 岩手県紫波郡紫波町稲藤字升形201番地  
TEL.019-673-8100/FAX.019-673-8110

株式会社エヌケー製作所

<http://engi.nk-g.co.jp/>

〒963-0541 福島県郡山市喜久田町堀之内字地田東17-2  
TEL.024-959-2220/FAX.024-959-2214

エヌケー・テック株式会社

<http://www.multi.ne.jp/>

〒963-0541 福島県郡山市喜久田町堀之内字地田東17-2  
TEL.024-923-1913/FAX.024-938-2328

## NKマイスター会 4月2日ついに発足!!

会長ごあいさつ／役員のご紹介





## NKマイスター会

我々の仕事はものづくりです。どんな建物、製品も人の手が加わって最終的に作り上げる、その職人さんが讃えられるというイメージを打ち出すために、職人さんの地位として一番高い位と称される「マイスター」という名称を使用しました。ロゴマークには、仲間が手と手を取り合い、多くの業者さんやNKグループの社員全員で大きな第一歩を踏み出し、「HAPPY LIFE」を目指しましょう、という願いが込められています。

ひとそれぞれの人生があります。

だからこそ「NAITO」では、  
会社として何が出来るか。何を与えられるか。

仕事とは何か。人生とは何か。  
考えつづけたいと思っています。

才能ある仲間と共に仕事をし、  
過程を楽しみながら成果を上げ喜びを分かち合うこと。

そして、皆の才能を開花させること。  
仲間とHAPPY LIFEをつくりあげたい。

未来に向けて  
県内No1総合設備会社を目標に一致団結!

すべての人が幸せな人生を送れるように  
これからも仲間と未来をつくります。

NKグループ代表 小野 勘



# NKマイスター会 4月2日ついに発足!!

4月2日(土)の第1回定時総会ならびに発足式の開催にあたり、役員をご紹介します。

ごあいさつ

皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。このたび「NKマイスター会」の会長に就任いたしました小林 通晃と申します。前会の引き継ぎもあり、今回初代会長を拝命し、大変身が引き締まる思いです。

現在のこの業界を取り巻く環境は、かなり復興をメインとした動きがありますが、皆様が技術者不足を補って一生懸命頑張っている中で、NKグループさんの“福島県内ナンバーワン”という目標の元、それに合った形の協力体制が出来たらと考えております。

今回のマイスター会は、協力会社のスタッフさん、職長さんが主役になる「V字組織」です。そこを重点的にフォローアップしていきますので、今後ともお力添えを賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

**福菱冷熱株式会社**  
取締役 技術部 部長  
会長 **小林 通晃**



## 役員のご紹介

役員一丸となって、協代会発展のために頑張っております。皆様のご指導・ご協力の程、よろしくお願い致します。



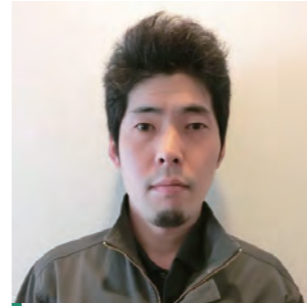
**有限会社 佐久間工業**  
代表取締役  
副会長兼  
北ブロック長 **佐久間 辰夫**



**不動産熱 株式会社**  
代表取締役  
副会長兼  
南ブロック長 **塚原 典夫**



**株式会社 内藤工業所**  
経営企画部 部長  
会計 **高橋 恵**



**有限会社 日殖設備工業**  
専務取締役  
会計監査  
(北ブロック) **齋藤 伸吾**



**援護化学 株式会社**  
代表取締役社長  
会計監査  
(南ブロック) **滝田 吉宏**



**三喜工業 株式会社**  
仙台支店 支店長  
幹事  
(北ブロック) **久我 真也**



**有限会社 工藤ダクト製作所**  
代表取締役社長  
幹事  
(北ブロック) **工藤 強太郎**



**白井空調**  
代表  
幹事  
(北ブロック) **白井 克博**



**株式会社 東北デバイス工業**  
代表取締役  
幹事  
(南ブロック) **君島 宏行**



**有限会社 那須空調工業**  
代表取締役  
幹事  
(南ブロック) **白井 和紀**



**株式会社 小泉東北**  
東北本社 所長  
幹事  
(南ブロック) **依田 孝次**



**株式会社 内藤工業所**  
代表取締役社長  
顧問 **小野 勘**



**株式会社 内藤工業所**  
取締役 環境本部 本部長  
顧問 **遊佐 肇**



**株式会社 内藤工業所**  
工事サービス本部 本部長  
顧問 **三須 辰彦**



**株式会社 内藤工業所**  
工事サービス本部 副本部長  
顧問 **伊藤 敏宏**



**株式会社 内藤工業所**  
工事サービス本部 副本部長  
顧問 **大橋 重夫**



**株式会社 内藤工業所**  
環境本部 副本部長  
相談役 **内藤 寛**



**株式会社 内藤工業所**  
環境本部 部長  
相談役 **鈴木 富司**



「NKマイスター会」を発足にあたり、  
内藤工業所 小野 勘社長と  
マイスター推進グループのお二人に  
今後の展望や、協力会への思いなどを  
お話しいただきました。

小野 勘 / 結構いい感じになってきたね。

小野 剛 / いや、力足りず…。

小野 勘 / そんなことはないよ。これがスタートで、ここから大きくしていくようにしてね。まずコアをつくって、1年2年と日を重ねるごとに大きくなると。組織は成長するんですよ。そして口伝えでパッと広がっていくことを目指すと書いてあった(笑)が、まさにその通りです。

南部 / 目指すべきところは、そこです。

小野 剛 / 最初に全部行ってしまったら、そこから先さらにというのが厳しいです。(笑)

小野 勘 / そうです。これから関東を攻めて、南に進軍するわけでしょう。

小野 剛 / はい。

小野 勘 / そして、最後は大阪まで行くと。

小野 剛 / もっと先まで行ければ…。

高橋 / 海外という話もありますね。

小野 勘 / それはちょっと…。(笑)  
一同 / (笑)

高橋 / まず、内藤工業所、エヌケー製作所、エヌケー紫波、エヌケー・テックを含めた「NKマイスター会」が出来上がりましたが、昨年10月の新組織スタート時に、なぜ南部さんをゲートから内藤へ送ったか、まず小野社長にお伺いします。

小野 勘 / やはり、彼は“火の玉”ですよ。太陽のごとく、みんなにいい影響を与える役割です。実は、その時に必要なことをやらしてもらえば、やることは何でもよかったです。この明るさと元気の良さで、勢いを出すという役割にピッタリだと思いました。

小野 剛 / いろんな意味での起爆剤になっていますよね。

小野 勘 / 元気を伝播というか、伝染させるというかね。

小野 剛 / 本当に違うカラーを入れてもらっていることは、しみじみ感じますね。

小野 勘 / しがらみがなかったというのがやっぱり、良かったんですよ。

南部 / 何も分からなかったですから。

小野 勘 / どうしても長い間にある程度ブレーキがかかってしまうところがありますけど、新人だとあまり気にせず新しいことを素直に進められる部分がありますから、その通りやらしてもらっています。

# 協力会発足 特別座談会

内藤工業所社長

マイスター推進グループ

マイスター推進グループ

## 小野 勘 × 小野 剛 × 南部健二

インタビュー / 経営企画部 高橋 恵



(株)内藤工業所  
マイスター推進グループ  
南部 健二



(株)内藤工業所  
マイスター推進グループ  
小野 剛



(株)内藤工業所  
代表取締役社長  
小野 勘

高橋／人材大当たりですね。

小野 勤／そう言ってもらえると、すごくうれしいです。

高橋／ところで、ゲーテハウスの協力会社の会も南部さんが立ち上げたんですか？

小野 勤／違います。一昨年ぐらいから協力を充実させようと、室長の赤峰さんと一年ぐらい試行錯誤して、結構実績を作ったんです。左官組合に飛び込んだり、お客さんから紹介してもらったり、ありとあらゆることをやってみたんですが、結果的に協力会も連鎖鎖というか、紹介で広げていくのが一番効率がいいことが分かったんです。そのノウハウを今回のマイスター会でやっていこうということなんです。

高橋／素晴らしい。10月にマイスター推進グループという名称のセクションを立ち上げて、小野剛さんを抜擢した理由は？

小野 勤／やっぱり、職人みんなの評判が良かったんですよ。去年、社員みんなとインタビューしたでしょう。その時に、職種関係なく、職人に人気があるのは小野さんということで、評判が良かったです。彼はダクト専門だったんですけど、配管だろうが何だろうが、どんな職人さんとも仲良くできると、みんないうんですよ。ダクトのプロだし、業績もいい数字を上げていたので、全部できるなと思ってお願いしました。

高橋／小野さん、工事を離れてマイスター推進グループに配属されましたが、その時の心境はいかがでしたか？

小野 剛／最初に話を頂いた時、本当に迷ったんです。私も二十数年ずっとダクトの管理をやってきたので、正直それを続けたいという気持ちもありましたから、かなり悩みました。

社長と2回話をさせて頂いた中で、その思いを伝えた上で、正直出来るかどうか分かりませんが、やってみますという感じでご返事させて頂きました。いまだに不安でいっぱいです。

高橋／それを支えているのが南部さんと。

小野 剛／自分がこの仕事に携わって分かることは何もないので、正直、自分にも「何をやっているのか」といふ立ちを覚えたこともあります。つぶれそうになるところを喝を入れてもらったり、なくさせてもらったりという感じで、何とかやっています。

高橋／社長、思惑通りですか？

小野 勤／そうですね。南部さんもそうなんですけど、小野さんもあまり私利私欲がないんですよ。柔軟性があるというか、人の意見を聞く器があるというか、それがないと動かないんですよ。総合的に自分のカラーを消して、どうすればみんなのためにいいのかを考えることが大事なので、そういう意味ではとてもいい経験をしていると思うんですよ。自己成長も感じているだろうし、職人さんもハッピーだろうし、会社にも貢献できるしね。自分もできれば、その仕事をやってみたいね。一同／(笑)

高橋／南部さん、いままで何社ぐらい歩かれましたか？

南部／直接お会いしている業者さんは330社ぐらいです。北は青森県から、南は東京ですね。

高橋／最初の感触はいかがでしたか？

南部／正直、業者さんがみなさん紳士的なというのはすごく感じました。いままでの私の経験の中では、どちらかというわがままで、人の言うことを聞き入れてというよりは、俺はこうなんだという人が多かったイメージがありました(笑)。「NKグループとお付き合いしている業者さんは、こんなに紳士的なんだ」というのが第一印象でした。その中に、内藤工業所・NKグループの歴史を感じて、身が引き締まりました。お会いした時の伝え方も、自分が思い描いているものをお



伝えるというよりは、逆に、みなさんが持たれている歴史やお付き合いの中で教えていただくという意識が変わってスタートしたというイメージがあります。

高橋／先日「NKマイスター会」の発足に向けて臨時役員会を開きましたが、小野社長、その時の印象は？

小野 勤／スタートが切れたなど。いい仲間と知り合えたので、もっとよく知りたいなと思っています。我々NKグループだけでもダメだし、協力会社一社一社だけでも力が足りないんですよ。いままでの職人の世界は閉鎖的で、うちの職人は他の職人に紹介できない、顔合わせできないと、ひとりの親方が抱え込む文化があるんです。今回の大会でも、なかなか来てくれないでしょう？

小野 剛／はい

小野 勤／やっぱりほかに露出したくないんですよ。だから抱え込む。それが諸悪の根源だったりするし、我々も元請・下請の立場を維持しようとして、どんどん力が衰退していつてしまっているんです。だから、もっと俯瞰的に「みんなのためにとっては何をすればいいのか？」と仲間意識を持ってやれば、本当にいい力になると思います。いままでこういう会社はなかったんですよ、そういう意味ではとても革新的なことだと思っているので、本当に心の通う組織にしたいと思っています。そのスタートなので、楽しみにしてます。

高橋／将来的には何社を目標に？

小野 剛／これからのエリア拡大を考えれば、いまスタートで250社ですが、業者さんの規模の大小があるので人数まではいえませんが、今後成長していくためには、500社以上ないと、という気持ちはあります。

小野 勤／それから、早期にサブコン(総合設備業)化しましょう。将来的にはサブゼネコンではないですけど、新しい建築業界でのポジションを獲得すべく、仕組みをこれから作らなければいけません。仕事の価値を高めないと、職人さんにも単価を多く払えないし、魅力も出せないし、もっといえは職人さんの数も集まってこない。事業企画、商品企画はこれからとても大事なので、これも同時に戦略的にやっていかなければと思っています。

高橋／「NKマイスター会」という名称は社長が？

小野 勤／いや、私じゃないですよ。二人がジャンケンで決めたんです。(笑)

南部／職人さんの地位として一番高い位と称されるのが「マイスター」です。我々はものづくりの会社なので、どんな建物、製品も人の手が加わって最終的に作り上げられる。その職人さんが讃えられるというイメージを打ち出したかったのが、今後そこを目指していきたいと思っています。ただ、それを支えているのは、例えば納材業者さんであったり、NKグループとお取引引き頂いているすべての会社の人たちが寄り集まった形でものが出来上がっていくんだというイメージを会の中で作り上げていく。そして、最終的に職人さんを讃えて、地位や名誉、所得という部分も含め



てみなさんがそこにたどりつけるように、今後活動していきたいと思っています。

高橋／4月2日の発足式典への、それぞれの思いを聞かせてください。まず、小野社長から。

小野 勤／そうですね。仲間意識が持てたら成功かな？やっぱり「我々は仲間、ファミリーなんだよ」と、一緒に推進出来るような雰囲気になったら最高ですね。

小野 剛／本当に第一歩なので、出席していただいた方に何かを感じ取って帰っていただければなど。それができれば、今回やって良かった、成功したなと思える時かなと思います。

南部／私は、仲間が手と手を取り合う姿を描いた「NKマイスター会」のロゴの通りに、みんなが大きな第一歩を踏み出す時の思いというのは、多くの業者さんやNKの社員みんなが集まった中で、絶対に感じるものがあると思うんです。これだけの人たちが集まったら何が出来るんだろうということを、一緒に考えて、感じてほしいと思います。

高橋／では最後に、お一言ずつ。

小野 勤／ここからスタートですからね。でも、いまままでにない新しい協力会にしていきたいね。ゲーテハウスにファサディエ会というのがあるでしょう。あれはみんなすごく仲がいいんですよ。いざという時には、みんな何でもやってくれますよ。商品開発から新しい工法とか、同時に進めているんです。この間、



僕も行ってきたんですけど、みんなでフランクに意見を出し合ってね。そういう意味ではフランクすぎるんだけど。(笑)一同／(笑)

小野 勤／職人は理屈の世界じゃなくて、常に本音で、人間社会を凝縮したようなあからさまな世界なんです。それはそれで心地のいい世界でもあるし、新しい世界観を作ればいいかなど。それはそれで人間らしくていいじゃないですか？それも楽しみのひとつなんです、仕事だけじゃなくてね。金の切れ目が縁の切れ目じゃない、何か独特の世界観があるんですよ。それは本当に心地よくて、幸せを感じる時がある。そんな会にできれば、本当にいいなと思います。

南部／一人でも多くの人に来ていただけるように、この思いを伝えていきたいと思っています。

高橋／会社が変わってきているということは社員も実感していますよね。

小野 剛／本当にいろんなところに声を掛けていただいて、助かっています。

小野 勤／そんなことは当たり前なんですけどね。

小野 剛／その当たりのことが、申し訳ないですけど、いままでできていなかったんです。それができるようになってきたので、変わったなと実感しています。一同／(笑)

小野 勤／みんなで勢いを出していきたいでしょう。

(取材日／2016年3月16日)

# NK HISTORY

## 内藤工業所の70年の歴史。

創業70年『株式会社内藤工業所』には、戦中・戦後を一職人として生き抜いた初代会長内藤國勝の職人魂が、いまでも脈々と流れています。

昭和20年10月、長男内藤衛（初代社長）は父の國勝とともに『内藤工業所』を興します。しかし、その当時、思うように仕事はありませんでした。そのため衛は警察予備隊（現在の自衛隊）に入隊し、2年間の任期を終えれば支給される退職金で、『内藤工業所』の事業拡大を図りました。

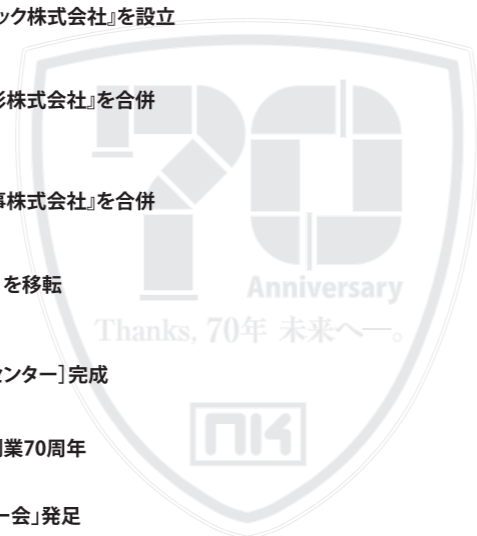
その後、高度成長の波に乗り、事業を拡大。社内に労働省認定の職業訓練校を創設し、技術者を養成。県外にも事業拠点を設けて、さらなる飛躍を遂げます。

内藤清吾（2代目社長）の時代には、職人の世界にITによる生産管理をいち早く取り入れ、「より安く」から「より高く」をめざし、ダクトの設計を手掛け、自社製の製造機械の生産を開始しました。

内藤國勝・衛父子が、郡山の職人町で始めた小さな板金工場が、『株式会社内藤工業所』に成長し、内藤清吾が受け継ぎ、創業70周年を機に、未来への舵取りを小野勤に託しました。



- 1945(昭和20年) ○ 郡山市鶴見坦1丁目で創業
- 1960(昭和35年) ○ 『有限会社内藤工業所』設立
- 1967(昭和42年) ○ [喜久田第1工場]を建設。[本社]を併設
- 1970(昭和45年) ○ [喜久田第二工場]を増設
- 1972(昭和47年) ○ [仙台営業所]を開設  
工場を独立させ、『株式会社内藤製作所』に組織変更
- 1973(昭和48年) ○ 郡山市創業の地(郡山市鶴見坦1丁目)に『内藤ビル』を建設
- 1984(昭和59年) ○ 『エヌケー商事株式会社』設立
- 1986(昭和61年) ○ 『株式会社山田板金』を買収
- 1990(平成2年) ○ 『エヌケー紫波株式会社』を設立  
『株式会社山田板金』を『エヌケー山形株式会社』に商号変更
- 1991(平成3年) ○ 『エヌケー・テック株式会社』を設立
- 1998(平成10年) ○ 『エヌケー山形株式会社』を合併
- 2004(平成16年) ○ 『エヌケー商事株式会社』を合併
- 2008(平成20年) ○ [仙台営業所]を移転
- 2013(平成25年) ○ [テクニカルセンター]完成
- 2015(平成27年) ○ 内藤工業所創業70周年
- 2016(平成28年) ○ 「NKマイスター会」発足



## 会社概要

- 社名 株式会社 内藤工業所
- 代表者 代表取締役社長 小野 勤
- 創立 昭和35年10月7日(創業/昭和20年10月1日)
- 本社所在地 〒963-8861 福島県郡山市鶴見坦1丁目14番5号
- 資本金 3億3,645万円(平成28年3月現在)
- 建設業許可 国土交通大臣許可(特-27)第3178号
 

管工事業	舗装工事業	電気工事業
土木工事業	塗装工事業	タイル・れんが・ブロック工事業
とび・土工事業	機械器具設置工事業	消防施設工事業
石工事業	水道施設工事業	
鋼構造物工事業		



■従業員数 98名

■内藤工業所組織図  
(2016年3月現在)

